

長命ヶ丘地区社協だより

令和 6 年 7 月 発行

長命ヶ丘地区社会福祉協議会

発 行 : 秋 保 明

令和 6 年度 定時総会を開催致しました

5月14日(火)令和6年度定時総会を開催致しました。理事・評議員の方々多数ご出席頂き、顧問の小林長命ヶ丘小学校長様、菅原長命ヶ丘地域包括支援センター所長様よりご挨拶をいただきました。また、田名網長命ヶ丘児童センター所長様より、令和6年度事業についてご紹介がありました。議案はすべてご承認いただきましたが、役員一同事業計画に沿って進めて参りますので、皆様のご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。 役員一同

6月29日

第1回 研修会を開催致しました

6月29日(土)に「長命ヶ丘地区の高齢化の現状と住民同士での支え合い」をテーマとして、町内会長・民生児童委員・福祉委員を対象に研修会を開催致しました。

研修は①長命ヶ丘地域包括支援センター武石昂大氏より地域の高齢化の現状、センターの相談内容や利用の方法などについて、具体の事例も交えながらご説明いただきました。何でも相談できる「地域の拠り所」としての役割について認識を深めました。

次に、②仙台市社会福祉協議会泉区事務所所長代理兼係長大久保 環氏より、地域福祉活動とは「**ふ**だんの**く**らしの**あ**わせ」であることを、ご自身のご親族の様子を交えながら分かりやすくお話いただきました。お話を通して、現在地区社協が各町内会を基本として取組んでいる「見守り活動」や「サロン活動」が、日常的な地域のつながりづくりを進める上でとても大切であることを改めて共有しました。



講師・武石 昂大氏



講師・大久保 環氏



7月
3日

「第一回」福祉懇談会を開催致しました

7月3日(水)各町内会から選出頂いております福祉委員の皆様による第一回福祉懇談会を開催致しました。福祉委員の皆様には、日頃ご近所でちょっと気になる方への見守りやサロン活動への協力など、各町内会において大事なお役目を担って頂いております。今回の福祉懇談会では「人生を豊かに生きる！」と題して、民生児童委員/地域福祉研究所主宰 本間照雄氏(4丁目西在住)による講話を拝聴いたしました。

高齢化が進んでいても、高齢者が街づくりへ参加することで地域の様々なことに貢献できることや、ご自身の地域づくりについてのお考えなど、身近な地域でのささやかな活動の大切さを分かりやすくご教示頂きました。



本間様より講話の一部をご寄稿頂きました



みなさんは、「福祉」に対して、どのようなイメージを持っていますか。よく耳にするのに「福祉のお世話になりたくない」「特に困っていないから福祉は関係ない」等々があります。

このような言葉や接し方の背景には、福祉とは「身体的・精神的・社会的に困っている人を対象にしている」という受け止め方があります。これまでの福祉制度の歴史や少子化と高齢化のスピードが早く、時代の変化に意識や制度が追いついていない側面がそうさせています。

しかし、こうした「福祉＝困っている人」との考え方を払拭する必要があります。福祉は困っている方だけの『救済システム』ではなく、安全・安心を築く『活性化システム』です。

すべての人々が福祉の対象で有り福祉の担い

手なのです。

今、健康で医療保険も介護保険も必要ないかも知れません。また、隣近所の声のかけも「小さな親切大きなお世話かい」と、感じるかも知れません。

しかし、病気になって心細くなった時、年齢を重ね一人暮らしになった時、台風や地震で不安になった時、子どもがぐずって泣き止まない時、隣近所の方の「大丈夫？必要なときは言ってね？」の声のかけは、何にも勝る支えと感じたことはありませんか。

福祉とは、特別なことではなく、誰もが関わる、あたりまえの「きづかい」です。そうした福祉の輪が、私たちの生活に安全・安心をもたらしてくれるのです。

「長命ヶ丘子育て支援マップ」を作成致しました

長命ヶ丘町内にある子育て支援に関連する施設・機関を掲載した「長命ヶ丘子育て支援マップ」を作成し全戸配布致しました。

なお、マップの必要な方は、長命ヶ丘市民センター、ランチ仙台西棟1階「まちづくりスポット仙台」に置いてあります。

また、連合町内会ホームページにも掲載しております。

